

世界の子どもたちの 声を届けていきたい

平和のつどい・講演会～講師：渡部陽一さん～
主催：パル南地区活動委員会 2月4日

北区民センター 参加約740人

パルコープでは「平和でより豊かな暮らしをめざすとどりをくみすすめます」を組合員活動の柱の一つとしています。今回は、若い世代や子どもたちにも戦争と平和について学び・関心を持って欲しい、多くの組合員さんや家族の方に集まっていただきたく、テレビなどでおなじみの戦場カメラマン・渡部陽一さんを講師にお招きして講演いただきました。

講演の後、地域活委員とパル子による、平和の取り組みの案内も行いました。誰でも参加して平和を願って歩く「ピースリレー」は、今年も7月5日の予定です。その他にも、各地域で様々なテーマで取り組みを行いますので、ぜひご参加ください。

独特のゆっくりとした語り口
調で登壇した渡部さん。大きな
身振り手振りで舞台狭しと歩き



が、90分の講演に引き込まれる
ように聞き入り、平和への思い
を新たにしていました。

渡部さんは「戦争で犠牲になるのはいつも子どもです。学校に行きたい。でも、家族みんなで一日でも長く生き延び続けるために働く子どもたち。私は世界の子どもたちの声を届けていきたい」とカメラを持って世界に出かけています。

家族が講演を聞いている間、子どもたちは3カ所の保育コーナーでお留守番。写真は地元のNPO「A-yah!!」のお兄さんお姉さんと遊ぶ小学生グループ。



組合員活動の コーナー

組合員活動は「食」「平和」「環境」「暮らし」の4つの柱にそって各地域で多彩なとりくみが行われています。その様子を紹介していきます。



渡部陽一さんプロフィール

学生時代から世界の紛争地域を専門に取材を続ける。長期取材を得意とし、イラク戦争では米軍従軍取材を経験する。

取材歴：アフリカ・ザイール内戦／アフリカ・ルワンダ内戦／イラク紛争／パレスチナ紛争／コロンビア内戦 など多数…
著書：「報道されなかったイラクと人々」「世界は危険で面白い」

参加された組合員さんの感想より

- 報道などで少しは知っていたけれど改めてひどい現状に心が痛み、悲しみと怒りを感じました
- 今、30万人という子どもたちが兵士となって戦っているという現状。渡部さんの戦場カメラマンとして伝えたいことがよく分かり、素晴らしいと思いました
- このような講演会がなければ耳を傾けることがなかったかもしれません。改めて平和ボケしてたなあと感じました

～ 岩手 被災地ボランティア 活動 ～



NO.11

被災者に寄り添い、 絆をつなげる支援活動を

被災からまもなく1年になる中、被災地で必要とされているボランティア活動は「地域の復興＝地域づくり」を後方支援するという次の段階に移っています。

例えば、いわて生協や遠野まごころネット(=パルコープがボランティアの基地としているNPO)も参加している「陸前高田ネットワーク会」では、地域住民の声を聞く場を設けて、支援の偏りや重複をなくし、地域の困りごとはその分野を得意とする支援団体につなぐことを目的に、どのような支援ができるのか、などこれから実行できることを話し合っています。

これからは、個々の被災者への直接的な支援に留まらず、息の長い地道な活動のできる地元組織(自治会等)を支援するといった進め方を検討しています。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
パルコープボランティア事務局
・林さんより)



年明けからの活動は、主に要支援者への物資お届けをしながら安全確認を行い、その時々を要請に応じて活動しています。活動している職員の日々の感想レポートをご紹介します。

【第3期第5陣】1月14日～20日

支所職員など7名(内よどがわ生協の方2名)

宮川さん(港支所)、水田さん(共済)、中尾さん(コールセンター)、村上さん(コジャスナ)、藤岡さん(よどがわ生協)、藤本さん(よどがわ生協)、尾本さん



「1月18日大槌町 震屋川支所・尾本さん」

仮設住宅に住むおばあちゃんが、近くへ飛来する白鳥のことを心配されています。「今年も来てくれたけど、様子が激変しているの大丈夫だろうか？田んぼも作てないのでエサが無いのでは？白鳥まで死ぬことはない…」と、僕らが考えないことまで考えてしまつたのだなあと感じました。その方が笑顔で白鳥を見れる日が早く来ればいいのにと心底思いました。

【第3期第4陣】1月7日～13日

支所職員など4名

下浦さん(サービスマネジメント)、宮辻さん(店舗本部)、村上さん(コジャスナ)、新井さん

6月に家屋の掃除に行かせていただいた個人宅に再びうかがいました。当時1階は上まで津波に浸かり半壊のまま残り、泥出しなど20名程でしました。お住まいのご夫婦は、今は仮設住宅に住みながら庭にじゃがいもを植えるため日中は土仕事をされています。また津波が来るかもしれないのでそこには住めないそうです。修理や建て直しをしても、住めなくなる。報道では映らない事実がたくさんあり、進んでいない、目を向けられない事が分かりました。



最高気温マイナスの中、訪問する仮設住宅。個人住宅で逆に暖かさでエネルギーをいただきました(1月12日 右側 新井さん)

【第3期第6陣】1月21日～27日

支所職員など6名(内よどがわ生協の方2名・ならコープの方1名)

宮沢さん(理事会室)、村上さん(コジャスナ)、江頭さん(よどがわ生協)、高谷さん(よどがわ生協)、福山さん(ならコープ)、西嶋さん



左端：西嶋さん、右端：高谷さん

昨年の9月に要望された量がやっと10量分入り、大槌町の在宅避難されているお宅へ届けました。この時ご主人が骨折で入院され不在だったので、部屋の大きさに合わせて、カッターで加工して敷くことができました。汗だくの作業でした。(1月24日 商品検査室・西嶋さん)

震災復興イベント 「3.11.from KANSAI ～まだまだこれから～」

【ご案内】

関西で「被災地を思う気持ち」を忘れない。被災地から関西へ避難されてきた方々が交流会を行い、関西から市民ができることを一緒に考える震災復興応援イベントです。パルコープもこのイベントに協賛し、組合員の協力により(株)アマタケの鴨鍋やグッズ販売などのブースを出展します。ぜひ、お越しください。



(写真は、1月21日に大阪市内の組合員さんが手伝ったチャリティーイベントでのブースの様子)

日時 3月10日(土) 13時～17時
11日(日) 9時～18時

場所 梅田スカイビル
(最寄り駅：阪神・阪急・地下鉄「梅田」、JR「大阪駅」)

●問い合わせ
おおさかパルコープ理事会室
☎06-6242-0904 (月～土 9:00～18:00)

主催：大阪市社会福祉協議会・遠野まごころネットなど
ホームページ <http://www.311kansai.com>

※1 要支援者：家族全員が65歳以上または、収入が無い家庭
※2 コジャスナ：北海道産物を中心とした卸業務を行なう関連法人

白鳥は 今年も来てくれたけど大丈夫だろうか